

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 60114958 A

(43) Date of publication of application: 21.06.85

(51) Int. Cl

G06F 15/21
G07G 1/12

(21) Application number: 58221422

(71) Applicant: FUJITSU LTD

(22) Date of filing: 26.11.83

(72) Inventor: YOSHINAGA SHINICHI
ENOKI EIJI

(54) DATA CANCELLING CONTROL SYSTEM

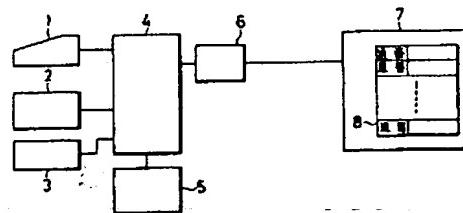
(57) Abstract:

PURPOSE: To simplify cancelling operation by adding a transaction serial number to a detail sheet and a total monetary amount, registering the result, inputting the transaction serial number and the total monetary amount at cancelling operation, collating the registered total monetary amount corresponding to the transaction serial number and cancelling the result.

CONSTITUTION: A commodity number and monetary amount are inputted from a keyboard 1 at each sales commodity, a main controller 4 operates the total sum of the detailed monetary amount by depressing the total key and obtains the total amount of money and writes the total amount of money to a storage device 5 while adding a transaction serial number. In cancelling the registered data, the cancelling key of the keyboard 1 is depressed, then the operator number and the transaction serial number of data to be cancelled are inputted, and then the total amount of money is inputted. Thus, the total amount of money corresponding to the transaction serial number is read from a registering storage device 8, and when the said total amount of money and the total amount of money inputted at the cancelling are

coincident, a center 7 erases the registered data corresponding to the transaction serial number of the registering storage device 8.

COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio



THIS PAGE BLANK (USPTO)

Fig 2 is a block diagram showing an essential part of the embodiment of the present invention. In this figure, 1 denotes a keyboard, 2 a display, 3 a printer, 4 a main controller, 5 a storage device, 6 a line control circuit, 7 a center, and 8 a registering storage device. Keyboard 1 comprises various keys, such as ten keys, a registering key, a cancellation key, and a total key. An operator number, a commodity number, a monetary amount, etc. are input through keyboard 1. These input data are written in main storage device 5 at each commodity class by main controller 4.

Once a commodity number and a monetary amount are input from a keyboard at each sales commodity and then a total key is pressed, main controller 4 calculates the total sum of each monetary amount stored in storage device 5 to obtain a total of monetary amounts, which is then written in storage device 5 while adding a transaction serial number. Therefore, commodity numbers, their monetary amounts, the total of the monetary amounts, and the transaction serial number are stored in storage device 5.

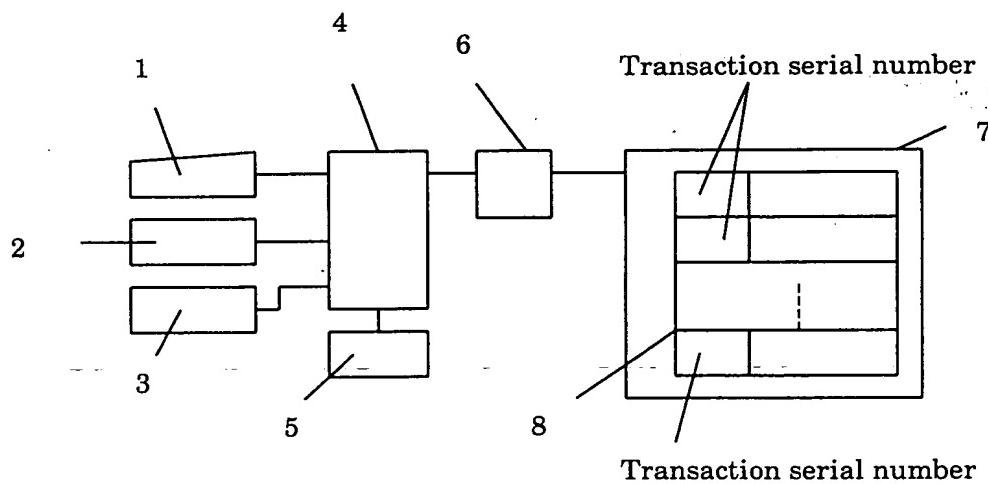
The content of storage device 5 is sent to center 7 through line control circuit 7 under the control of main controller 4 and stored in registering storage device 8. In this instance, a commodity number, a monetary amount and a total sum are stored at each transaction serial number. An operator number may also be stored in the same storage region. According to the content in registering storage device 8, accounting management and inventory control is conducted.

In order to cancel registering data, first, a cancellation key is pressed, and then an operator number and a transaction serial number to be canceled are input. After that, a total sum is input. As a result, the total sum of the monetary

THIS PAGE BLANK (USPTO)

amounts corresponding to the transaction serial number is read out from registering storage device 8, and if the total sum read out agrees with the input total sum at the canceling, the registered data corresponding to the transaction serial number will be canceled. In the case where an operator number is also stored in registering storage device 8, a total sum of monetary amounts may be read out from a storage region which corresponds to the input operator number and the transaction serial number, and then a reference may be made between the total sum read out and the input total sum.

Fig. 2



THIS PAGE BLANK (USPTO)

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A) 昭60-114958

⑬ Int.CI.¹

G 06 F 15/21
G 07 G 1/12

識別記号

厅内整理番号

6619-5B
7257-3E

⑭ 公開 昭和60年(1985)6月21日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 データ取消制御方式

⑯ 特 願 昭58-221422

⑰ 出 願 昭58(1983)11月26日

⑱ 発明者 吉永 伸一 川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内

⑲ 発明者 榎木 栄樹 川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内

⑳ 出願人 富士通株式会社 川崎市中原区上小田中1015番地

㉑ 代理人 弁理士 柏谷 昭司 外1名

明細書

1 発明の名称 データ取消制御方式

2 特許請求の範囲

取引データを登録し、該取引データが誤つて登録された時に、該取引データを取消す処理を行う金銭登録機に於いて、取引明細と合計金額とに取引番号を付加して登録する登録手段と、取消操作時に取引番号と合計金額とを入力する手段とを設け、該入力された取引番号に対応する前記登録手段による登録データから合計金額を読み出し、読み出した合計金額と前記入力された合計金額とを照合し、照合一致の場合に、前記登録手段の取引番号対応の格納領域の登録データを取消すことを特徴とするデータ取消制御方式。

3 発明の詳細な説明

発明の技術分野

本発明は、端末装置特に金銭登録機から入力して登録されたデータを取消す場合に、その取消操作を簡単化したデータ取消制御方式に関するものである。

従来技術と問題点

各種の商店、百貨店、スーパーストア等に於いては、端末装置として金銭登録機が設置され、売上商品の品番、数量、金額等を入力し、明細や合計金額を印字したレシートを発行し、又ホストコンピュータ等を設置したセンタに商品の品番、数量、金額等のデータを転送して登録し、会計管理や在庫管理を行うものである。このような金銭登録機からの入力操作が誤つて、誤データが登録されたことが後で判つた時、登録データの取消操作が行われる。この取消操作は、従来、取消キーを操作し、次に売上伝票に基づいて、商品の品番、数量、金額を入力し、合計金額が合うようにして登録データの取消しを行つるものであつた。

例えば、第1図の(a)及び(b)は従来の売上操作及び取消操作のフローチャートを示すもので、売上操作に於いては、(a)に示すように、オペレータ番号(No.)を登録し、売上商品の品番と金額とをキーボードから入力し、これを繰り返して合計キーを押すと、明細及び合計金額の印字が行われ

る。又取消操作に於いては、向に示すように、取消キーを押し、オペレータ番号(ド。)を入力し、売上伝票に基づいて品番、金額をキーボードから入力する。この品番、金額の入力を繰り返して、合計キーを押し、合計金額が合つていると、登録データの取消処理が行われる。

前述のように、取消操作は、売上操作と同様に品番、金額を入力するもので、この入力操作が誤る場合もあるので、取消操作の取消しを行う必要が生じたり、又明細個数が多いと、取消しの入力操作に手間がかかり、誤入力の可能性が大きくなる欠点があつた。

発明の目的

本発明は、登録データを取消すための取消操作を簡単化し、所望のデータを取消すことができるようにしてすることを目的とするものである。

発明の構成

本発明は、取引明細と合計金額とに取引通番を付加して登録する登録手段と、取消操作時に取引通番と合計金額とを入力する手段とを設け、該入

力された取引通番に対応する前記登録手段の格納領域から合計金額を読み出し、該読み出合計金額と前記入力された合計金額とを照合し、照合一致の場合に、前記登録手段の取引通番対応の格納領域の登録データを取消すものであり、以下実施例について詳細に説明する。

発明の実施例

第2図は、本発明の実施例の要部プロック図であり、1はキーボード、2は表示装置、3は印字装置、4は主制御装置、5は記憶装置、6は回線制御回路、7はセンタ、8は登録用記憶装置である。キーボード1はテンキー、登録キー、取消キー、合計キー等の各種のキーを備えているものであり、このキーボード1からオペレータ番号、品番、金額等を入力するものである。これらの入力データは、主制御装置4により種別毎に記憶装置5に一旦書き込まれる。

売上商品毎にキーボード1から品番、金額が入力され、合計キーを押すと、主制御装置4は記憶装置5に書き込まれている明細金額の合計を演算し

て合計金額を求め、記憶装置5にこの合計金額が取引通番を付加されて書き込まれる。即ち記憶装置5には、品番、金額、合計金額、取引通番が格納されることになる。

記憶装置5の内容は、主制御装置4の制御により、回線制御回路6を介してセンタ7に送出され、登録用記憶装置8に格納される。この時、取引通番対応に品番、金額、合計金額が格納されることになる。これらの格納領域にオペレータ番号も含めて格納することもできる。この登録用記憶装置8の内容により、会計管理や在庫管理が行われる。

登録データを取消す場合は、キーボード1の取消キーを押し、次にオペレータ番号と取消すべきデータの取引通番とを入力し、更に合計金額を入力する。それにより、この取引通番に対応した合計金額が登録用記憶装置8から読み出されて、この合計金額と取消操作時に入力した合計金額とが一致している時に、センタ7では登録用記憶装置8の取引通番対応の登録データを消去することにな

る。登録用記憶装置8にオペレータ番号を含めて格納されている場合は、入力されたオペレータ番号と取引通番とに対応した格納領域から合計金額を読み出して、入力された合計金額との照合を行わせることもできる。

第3図は、本発明の実施例の登録データ取消時に動作する主要部の機能プロック図であり、第2図と同一符号は同一部分を示し、10は入力データ識別回路、11、12はレジスタ、13は送受信制御回路、14はレジスタ、15は照合回路、16は表示制御回路である。キーボード1の取消キーを押して取消操作であることを主制御装置4に通知し、オペレータ番号をキーボード1から入力する。このオペレータ番号の入力は、必ずしも要求されるものではないが、取消操作を行ったオペレータを認識しておく為に入力することが好適である。

次にキーボード1から取引通番及び合計金額を入力すると、それぞれの入力データは、レジスタ11、12にセットされる。送受信制御回路13

は、レジスク11にセットされた取引番号をセンタ7へ通知するためのメッセージを作成して送出する。センタ7からは、取引番号に対応する合計金額が応答メッセージとして送られてくるので、送受信制御回路13は受信した合計金額をレジスタ14にセットする。

照合回路15はレジスク12の内容とレジスタ14の内容とを照合し、一致した時は、送受信制御回路13に制御信号を送出し、送受信制御回路13はセンタ7に先に送出した取引番号に対応する登録データの消去を指示する信号をメッセージとして送出する。又一致したことを表示装置2に表示する。この照合結果が不一致の場合は、照合回路15から送受信制御回路13に制御信号は送出されず、不一致であることを表示装置2に表示させる。オペレータは不一致の表示により再度取消操作を行うことができる。

第4図の(a), (b)は、本発明の実施例の売上操作及び取消操作のフローチャートを示し、売上操作は、(a)に示すように、オペレータ番号の登録を行

い、売上商品毎に、キーボード1から品番、金額を入力する。そして、合計キーを押すと、取引番号と合計金額とが登録され、それらが印字出力される。

取消操作は同様に示すように、取消キーを押し、次にオペレータ番号と取引番号とをキーボード1から入力する。次に取消すべき合計金額をキーボード1から入力する。センタ7から取引番号に対応する登録用記憶装置8の格納領域から合計金額が読み出され、この合計金額とキーボード1から入力した合計金額とが比較され、比較一致の場合は取消処理が行われ、不一致の場合は、再度オペレータ番号と取引番号との入力及び合計金額の入力をを行うことになる。

前述のように、登録用記憶装置8に取引番号に対応する登録データを登録しておくことで、このような処理は特に複雑化することなく、取消操作時に取引番号と合計金額とを入力するものであるから、誤入力操作の可能性は殆どないものとなり、明細を入力する場合に比較して、取消操作が非常

に簡単となる。又取消操作を行ったオペレータ番号と取引番号とを記憶しておけば、後の証拠とすることができます。

発明の効果

以上説明したように、本発明は、センタ7の登録用記憶装置8等の登録手段に、明細と合計金額とに取引番号を付加して登録し、取消操作時に、取引番号と合計金額とを入力し、この取引番号に対応する前記登録手段の格納領域から合計金額を読み出して、この読み出合計金額と前記入力された合計金額とを照合し、照合一致の場合に、前記登録手段の取引番号対応の格納領域の登録データを取消すものであり、オペレータは取引番号と合計金額とを入力するだけで済むので、明細を入力する従来例に比較して取消操作が非常に簡単となる利点である。

4 図面の簡単な説明

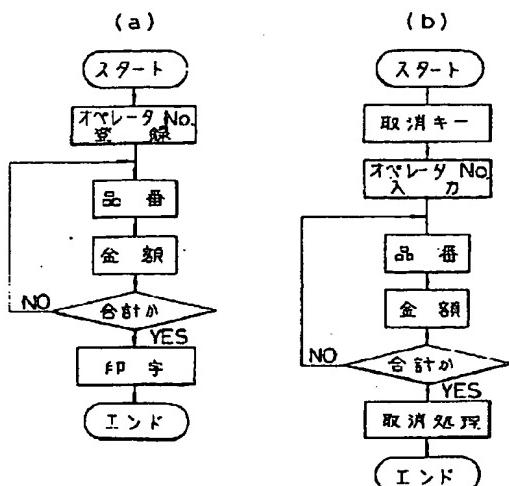
第1図(a), (b)は従来の売上操作及び取消操作のフローチャート、第2図は本発明の実施例の要部プロック図、第3図は本発明の実施例の取扱動作

の主要部の機能プロック図、第4図(a), (b)は本発明の実施例の売上操作及び取消操作のフローチャートである。

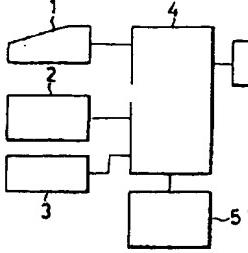
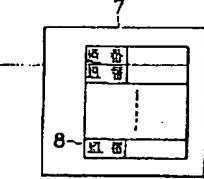
1はキーボード、2は表示装置、3は印字装置、4は主制御装置、5は記憶装置、6は回線制御回路、7はセンタ、8は登録用記憶装置、10はデータ識別回路、11, 12, 14はレジスタ、13は送受信制御回路、15は照合回路、16は表示制御回路である。

特許出願人 富士通株式会社
代理人弁理士 柏谷昭司
代理人弁理士 渡邊弘一

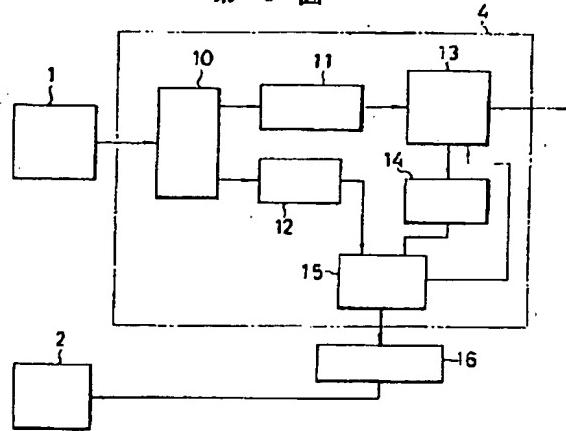
第 1 図



1



第 3 図



第 4 図

